

知のとおり、莫大な金をかけて、それが現在でも景気が悪いのにかけた金が返せるかどうか、将来の見通しが全く暗いということにあると思います。

どこでもそうですが、立川なども、駅ビルや南口駅前開発など着工され、またしつぷあるものの、一つは立川、三鷹間の複々線を期待し、もう一つは、昭和記念公園ができるという明るい見通しが勢いをつかされたのではないのでしょうか。昭和記念公園が来月天皇陛下を迎え、一部開園ということ、完成の暁は、年間五百万人の人出を見込んでいるとのことでございます。その何名かの人を福生まで足を伸ばしてもらいような何かよいアイデアがないものかどうか、市長にお伺いいたします。

たとえば、飛行機博物館などをつくり、零戦戦闘や呑竜やB29、世界の飛行機を集め、あるいはアポロやソユーズなどをときには借りるなどして、観光コースにつくり上げてはどうか。あるいは水族館等、最近、青森市の浅虫地区では、中学校跡

地に、海や川、湖の世界を再現し、水の生物たちとの触れ合いを深めようと、海中散歩、イルカショーなどで、連日五十人から一万二千人に上る人出でにぎわっているそうです。

福生市のセタもだんだん名前が売れ、ことしは昨年より人出も多く、大変結構だと思えます。しかし、年間を通して、周辺市町村の人たちはもちろん、日本じゅうの人が、世界の人々が福生に足を向かせるような観光資源を考え、つくり出していかなければと思いますが、田村市長はどのようにお考えでしょうか。

山梨県甲府にある県立美術館のミレーの絵で、他県からの人集めをしております。また、御承知のとおり、札幌の雪祭りは世界的に有名になってきました。また、本年四月にオープンした浦安市の東京ディズニーランドについて、この間五百万人を突破したなど、いま、どの自治体でも、目の色を変えて観光資源を考えると、求めております。

最近では、日本丸を求めてラグコール合戦は、御承知のとおりでございます。国によっては、観光客だけが頼りという所もあるように、福生市としても基地に頼るだけでなく、基地は基地として、新たに西口再開発を、という大事な事業を契機に、再開発のバックボーンになるような、また将来、明るい見通しになるようなものをみんなで考え、つくり出さなければ、新しい福生市の発展は望めないでしょう。市長はどのようにビジョンをお持ちかお尋ねいたします。

また、西武線福生駅東り入れについても、近況はどうかお尋ねいたします。私の一般質問とします。

(市長 田村匡雄君登壇)

○市長(田村匡雄君) 宮沢議員さんの一般質問に対してお答えいたします。市内の国有地の件についてでございます。

御承知のように、当市内には各省庁所管の用地が数多くございます。その関係省庁には、国道、多摩川等管理してお

ります建設省、基地関係用地の総理府、大蔵省国有農地の関係の農林水産省等の用地が点在してあります。これらの用地等の管理については、それぞれ所管しておりますが、省庁において管理を行っております。

一方、市内に点在しております国有地のうち、建設省関係用地につきましましては、河川敷を利用し、南公園、かに坂公園等に約五万六千平方メートル、また、基地関係の総理府等の用地約十六万九千平方メートルのうち公園、スポーツ施設、リサイクルセンター施設等約二万八千平方メートルを借り上げて、それぞれ市民に利用していただいているわけでございます。これらの敷地、施設等につきましましては、当然のことながら、使用条件に基づき、市において管理しております。

また、農林水産省関係の国有農地につきましましては、約六万五千平方メートルが市内にあります。その管理方法として農耕貸付、転用貸付、そのほかに未貸付等の用地につきましましては、

規則によりまして市の職員が見回り、その状況について東京都に報告しておりますのが現状でございます。

細部については部長から答弁をいたさせます。

次、第二点目の児童館建設について、現在地域会館が児童会館的機能を持ち、子供のためのいろいろな事業を実施しております。しかし、今後ますます都市化が進む中で、児童の遊びの問題や仲間集団の減少を考えますと、次代を担う子供たちの生き生きとした生活の場をつくり上げていくために、拠点となる児童館のあり方はきわめて重要であると考えますので、教員センターや地域会館等の計画と合わせ、今後、十分検討させていただきます。

次に、西口再開発に伴う周辺整備の将来計画でございますが、西武線の福生駅の方から申し上げます。

将来計画については、特に、西口開発のトータル的成功を考え、いかにして人を多く寄せるようなものをつくり出すかが、た

とえば、西武線の福生駅乗り入れ、あるいは飛行機博物館ですとか水族館の建設を考えてみてはどうかという御質問ですが、確かにお説のとおりであります。これまでの調査報告書でも同じ意味のことが指摘、提案されていきます。

そこで、第一点の西武線の福生駅乗り入れでございますが、青梅線の拝島駅から牛浜駅までの間の北口に、延べにして約八百メートル余の土地を大分以前に西武鉄道が買収してあります。そのようなことから噂を耳にしたことがあります。また、市、町、村のときもありましたが、二度ほど西武鉄道へ要請に行った経験もあります。

最近では、八月末、私はもとより田村議長、山下商工会長並びに土地所有者代表で田村半十郎氏とともに御同行いただきまして西武本社へ行き、福生駅乗り入れを招請したところでございます。

しかしながら、結論的には、人玉く考えていないということなの

であります。その理由として、鉄道は、駅付近は喜んでいただけ
るが、間の沿線住民は反対であったり、国鉄との並行は、立川
駅構内の改良で青梅線が増強されるのであろうし、経済性の
上からも採算が合めない。また、相互乗り入れは、車両の改造、
運転手の交代等容易でないといったことが挙げられ、これまで買
った土地は、先代のかかなりの独壇によるものと、全く遺物のよ
うな話でございました。

席上、これからお話しする新交通システムについて考えた方が
よいのでは、という逆提案がありました。これは、先方の取締役
の一人大山企画部長は、東京都の多摩地域都市モノレール等
基本計画調査委員会のメンバーの一人でありまして、交通企画
のベテランですが、いま西武鉄道では、モノレールですと一般的に
キロメートル当たり約七十億円ぐらいかかるという建設費を、約十
億でつくるモノレール以外の新交通システムによる路線の検討を
しているそうです。

これは、一度に三千人といった大量輸送を一時間に一回ぐらい行
うのではなく、二百人、三百人程度の中量輸送で時間何本も運
行した方が、サービスの点ではるかによいので喜ばれる。つまり
必ずしも鉄道やモノレールだけに固執しないで、たとえば、バス
専用レーンでもよい、鉄道などよりはるかにたやすくできるも
ので宮沢議員さんが御指摘の目的を達するようにしたらと
いう提案でございます。

都市において、特に、交通体系は商圈を定める重要な要
因の一つであることは確かでありますので、御質問の部分
とは必ずしも一致いたしません。御指摘はありがたく受けと
め、本件は一西口にとらわれず、当市全体の活性化のため
にも十分検討し、議員各位にも御相談申し上げていくと
ころでございます。

引き続きまして、飛行機博物館及び水族館の建物につい
てあります。御指摘はよくわかります。西口駅前通りあ

るいは銀座通りのように、いわゆる路線型商業地には、核となる魅力的な商業施設がなく、また、お話のような施設もありません。こういった商業地の活性化と振興を図るためには、御指摘のようなものを含めた公共施設整備を行い、合わせて魅力ある商業地の整備促進が必要なことは、明白なことであります。先へ行つての問題を少しでもなくすために、開発当初からは、きりした目的意識を持った施設を考えていかなければならないと存じます。

八十年代中期を見通した消費者像と商業の行方、強化策の一つに、都市感性をつかむことが大切であり、夢と希望のある環境づくりの推進が必要だと言われています。いま具体的にどうということにはなり得なくて恐縮ですが、たとえば、西口再開発基本計画報告書の中で、施設建築物の、つまりビルのワンフロアを市の施設、たとえば市民ホールとギャラリーに考えたり、第二街区には、市のものと限定はいたしませんか、小さ

な映画館等の提案がなされています。

おっしゃることはよくわかります。大変ありがたい提案と受け止め、地域内だけにこだわらず、周辺を含めて少し幅の広い範囲で検討いたさせたいと思いますので、現在のところは、この程度でお許しをいただきたいと思います。

以上で答弁とさせていただきます。

○市民部長（井上久男君） それでは国有地についての市長の補足答弁をさせていただきます。

御指摘の国有地につきましましては、農林水産省所管の用地かと存じます。

この国有地については、自作農創設特別措置法に基づきまして、農地開放によつた国有農地でありまして、現在、その面積は、総体で六万五千五十四平方メートル二百十筆でございます。そのうち農耕貸付が四万四千百五十一平方メートル百一筆、転用貸付五千七百九十七平方メートルの二十五筆で、未貸付の国有地

が一万五千百六メートル八十四筆となっております。

そのうち農耕貸付、あるいは転用貸付については、特に問題はありませんが、未貸付については、若干の御指摘の分があるかと思われまゝ。そうした個所につきましても、すでに東京都へ連絡済みでございます。都においても確認し、その対応を考えております。その一つといたしまして、境界確認のための予算化をいたしまして、本年度から実施するということになるかと存じます。

以上でございます。

○議長（田村市郎君） 三時十分まで休憩いたします。

午後二時五十八分 休憩

午後三時十一分 開議

○議長（田村市郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

○十九番（宮沢良一君） 自席で再質問をさせていただきます。

国有地の問題については、よくわかりました。

防衛関係の国有地については、約まだ十四万平方メートルあるようですが、基地対策委員会でも防衛へ行くために貸していただきたいという、これらのことはお願いしているわけですね。そういったことで、目的がはっきりすれば考えるというようなことを言っているわけで、ひとつ理事者としても、市民のために貸付要求ということを考えていただいて、さらに国有地の有効利用に御努力をお願いしたいと、このようによろしくお願いいたします。

そしてまた、休耕地の関係の国有地でございしますが、前回より一つ進展したというか、ここで境界線の予算がつくということで、ひとつ境界線がはっきりしたら、さくさくするとかしてははっきりしていただきたいと。本来ならば、ある程度空手道場の近くの辺など、多少何台でも駐車場に借りられるような気がしますけれども、なかなか国有地を借りることについては大変だというようなこともありますが、中には、借りて公園にするという場合も理事者

の方で努力している件もあるんで、この点もやはり努力はしていただきたいとこのように思います。

国有地については、要望で終わらせていただきます。

それから、児童館についてでございますが、市長は前向きな答弁でございましたが、まだ、その建設が遠いような感じがするわけで、文化会館と地域会館とよくにらみ合わせた上で、というようなニュアンスでございましたが、私の要望は、やはり児童館というものを一つ建てまして、そういう中にできればすべての子供たちの遊びなり、また、いろいろな現代的な先ほど述べましたようなそういった設備をされて、先ほど一般質問の中でも、赤星議員の中にもありました、福生市の子供は室だと、先行投資だと、科学博物館だとか、あるいはエネルギー会館等も含めた、そういった併設の中で子供たちがやはり大きな影響を受けて、将来博士が出るかも知れません。そういう意味では、たしか先行投資だと思えます。そういう面でもっと思い

切った、文化会館の中でも結構ですから、その点ひとつもう一遍、はっきりお答え願いたいと思います。

それから、西武線の件でございますが、もう時代おくれた、やはりもっと新交通システムということで、比較的費用が安く上がって、そういうものができると、あるいはバスレーンとか、そういうことも私は結構だと思っております。そういったものが比較的福生に乗り入れられるような態勢を早くつくっていただきたい。

この前、立川のウイルに行ったときに、武蔵村山から高幡までの所へは、近々早く行くんじゃないか、あるいは武蔵村山から瑞穂へかけてはことに早い、それは一つの道路が利用されることだということも伺っております。

そういう面で、やはりそういう新交通システムを受け入れるには、何と云ってもそういう一つの道路がある程度受け入れられる態勢の幅の道路をまずつくると、そういった面もひとつ

理事者の御努力で、早くそういった態勢をつくるということも、西口再開発の発展の因となると思いますけれども、その点どう考えていかれるのか、もう一遍ひとつお聞かせ願いたいと思います。それから、観光資源というか、観光コースに、やはり先行き福生も、水族館とかあるいは飛行機博物館等をつくってはどうかと、そういったことで市長さんのビジョンとなるとどういったものを持っておられるのか、そういったことも質問したわけでございますが、いつぞや、市長さんは、多摩川に船を浮かべて観光コースにするような、そういう大きな構想も話されたこともありますけれども、非公式にですけれども、そういったことも大変結構だと思っています。

そういう意味で、きょうは、新たにそういったビジョンをお話ししませんでしたけれども、私が一般質問したそういった内容が、即市長のビジョンであったのかどうか、その点もう一遍お尋ねしたいと思います。

○市長（田村匡雄君） 自席から答弁いたします。

児童館の件については、企画の方で答弁をいたさせていただきます。一番最後の観光というようなことを含めて、何か福生の新しいイメージづくりはどうかというようなことでございますけれども、私も、夢というよりも、やはりいまの立場から考えまして、東には横田基地、それから西の方というか、こちらには多摩川との間に非常に狭い福生でございます。以前でございますけれども、都知事に、いろいろな関係で話し合いの中で多摩川の浄化ということと非常に話したわけですが、羽村から昭島までの福生境までですが、この多摩川の約九十キロぐらいの中で一番要するに汚染されているんだと。それには、やはり小作、それから羽村のせきで多摩川の水をきれいに吸い上げてしまう。また、それから、伏流水で出てきた水まであそこらの所でまた上水へ上げていくようなことで、非常にこの多摩川のふちでありながら、一番ひどい目に遭っているのがこの福生であるし、私も

昔そうだったんですけれども、いまの子供に対してもやはり昔のきれいな多摩川をよみがえらせたいんだというふうなことで、知事とも話し合ったときに、将来、やはりこういった所のせきで、現在は小河内ダム、それから羽村のせき等で調整していただいておるので、ひとつ名物に、柳山の前あたりに大きな水の公園的なものをつくりたい、ぜひそういったことで、多摩川に水を常時流していただきたいということをお願いしたわけですから、現在、玉川の上水にも余り水を入れてないと。大体、小作のせきとそれから羽村のせきでほとんど水を取ってしまったので、飲料水という立場から小作へ上げているようでございますので、羽村のせきへ上げている人の方の一部でいいから一年じゅうせきを、一つのせきだけでもいいから開けて、この多摩川を昔のような多摩川にしたい、と。五日市線から拝島寄りの方になりますと、秋川とかあるいは平井川が合流いたしましたして、水量も非常にふえております。また、非常にきれいな水が流れておる。そう

いうようなことで、ぜひ、私も一つの憩いの場所であるし、さつき申し上げたとおり、一つには横田に遮られ、一つには多摩川に遮られた本当に小さな所で、何もとにかくこれと言って福生にふさわしいものがないので、ただ基地のイメージだけでは、非常にいろいろな関係でよくないので、ぜひひとつ多摩川の浄化と、いうことで、何回か訴えております。

そういったことが私も一つの西口の開発とか、福生の商店の開発とか、あるいは観光とか、そういったことになるかと思いついて、そういったことを申し上げておるし、私も、いまもそのことは変わりございません。東京都の関係者に行き会うごとに、多摩川の浄化ということも訴えておる次第でございます。御理解をいただきたいと思います。

○建設部長(内田和雄君) 西口再開発に對しましての道路関係の整備等の御質問をいただいたわけですが、確かに道路がでることによって、いろいろな新交通システム等が、先にできた所

にどうしても伺いて来るのではないか。これから非常に道路づくりというのがむずかしいという中で、東京都等では、担当者にぜひ福生へ通してもらえるかとお話ししますと、これからは、そういうものができれば早く通るのではないかというような話もあるわけです。

そういう中で、いずれにしても、福生を中心に瑞穂方面、また秋川方面の方々を福生の駅に足を向けて、通勤、通学等、また買物等してもらうには、道路整備以外にはないのではないかというふうに思っています。

また、これは当市だけで道路と言っても、またほかの市の協力が必要でできません。そういう中で、たまたま多摩地区の都市計画道路再検討協議会というわけ、われ事務屋での協議会等がありまして、これは都の都市計画局でやっておりますが、それらにも話を出しまして、その中で新交通システム、あるいは専用レーンというものが通るような道路の検討をしていた

だくようにしてまいりたいと思います。これは多摩地区全体でございますが、やはり、道路というのは福生だけの開発ではできませんので、他の市のところも利用しまして検討させていただきたいと思えます。

○企画財政部長（生子国利君） 児童館の建設につきましての補足の答弁を申し上げたいと思います。

先ほど市長からその趣旨等については御説明申し上げて、また、御質問の要請、趣旨ももつともでございます。したがつて、先ほど市長が答弁したように、今後は、基本計画の中にはまだそのような施設の建設の計画が予定されております。したがって、ある程度これとホローしてみても、先ほど申しました教養会館とドッキングさせるか、あるいは地域会館とのドッキングをするか、そういったことにつきましては十分検討させていただきまして、今後、その計画に沿って建設するものもございしますので、それと合わせて積極的に取り組んでいきたいと思えます。以上